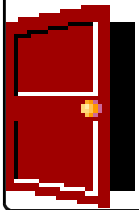


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No. 10

桑村小学校令和5年5月12日 文責 渡邊

今年度もチャレンジ！

「お気に入りの一冊をあなたへ読書推せん文コンクール」

読書を通して感じたことを自分なりに表現することで自分の「感性」が豊かになることをねらい、令和4年度に「お気に入りの一冊をあなたへ読書推せん文コンクール」に全校児童で取り組みました。コンクールへの入賞は残念ながらありませんでしたが、1年間取り組んできたことで子供たちの感性は育まれていることを感じます。

そこで、今年度も皆でコンクールにチャレンジしたいと考えます。2年生以上の桑っ子は、この春に「詩」の作品を題材に読書推せん文を書き上げました。もう一つでも二つでもチャレンジしませんか？一人いくつもの作品で応募できるのがこのコンクールのよさだと思います。7月14日(金)を校内で締め切り日とし、学校でまとめて応募します。

昨年度のコンクールの入賞作品がホームページに掲載されていたので紹介します。はじめに『詩』を題材にした1年生(兵庫県)の作品です。

『いちねんせいになったあなたへ』(江國香織／詩 井口真吾／絵 小学館)
すすめたい相手 「1ねんせいになるこ」

このほんは、えがカラフルでみるだけでもたのしいです。しがいっぱいかいてあります。はじめてよんだときはよくわかりませんでした。なんどかよんでいるうちに、うたをうたっているようなたのしいきもちになりました。わたしは、なんどもなんどもよみました。

このなかのしは、やさしいことばでかいてあります。がっこうにいくのがふあんなときやなときも、たのしいしでわらったりして、はげましてもらいました。おとなでもたのしなるとおもいます。おとうさん、おかあさんとよんで、いちねんせいになるのを、たのしにしてほしいです。

次は「詩」を題材にした2年生(東京都)の作品です。

『花いっぱい まどさんの詩の本』(まど・みちお著 長新太／絵 理論社)
すすめたい相手 「昭和小学校の2年生のみんな」

わたしは国語のじゅぎょうでまど・みちおさんの詩が大すきになりました。なので学校の図書かんでまど・みちおさんの詩を見つけたので、夏休みに読んでみることにしました。心があたたかくなる詩がたくさんので、わたしは昭和小学校の2年生のみんなにこの本をおすすめします。この本には40の花の詩がのっています。さくら、たんぽぽ、バラ、すみれなどお花の気もちがつたわってきます。読んでいるとお花ばたけにいるような気もちになります。うれしいな、楽しいな、さみしいな、などお花たちとおしゃべりしているようなかんじがします。そしてわたしの名前は「はな」なので、みんなが「はなちゃんお友だちになろうよ。」と言ってくれた気がしました。

次は2年生(宮城県)の「図鑑」を題材にした作品です。
『小学館の図鑑NEO岩石・鉱物・化石』(指導・監修・執筆 萩谷宏ほか 小学館)
すすめたい相手 「お母さん」

ぼくは、石が大すきです。石の中でもこう物がすきです。同じ石なのに、色がちがっていてもきれいなところが不思議だからです。この図かんを読むと、石について物知りになります。河原の石や化石についても書いてあって地球の歴史も分かります。まず、お母さんに読んでほしいです。ぼくが学校や道で石をひろってくると、お母さんは、「きたない石をひろってきちゃだめ」といいます。だから、ぼくは石を石けんであらってから自分のへやにならべています。黒い石でも金色のつぶがまざっていたり、ダイヤモンドみたいに光るものもあります。ぼくの宝物です。この図かんを読めばお母さんも石をすきになると思うので、ぜひ読んでみてください。

次は3年生(佐賀県)の作品を紹介します。
『おさがり』(くすのきしげのり作 北村裕花／絵 東洋館出版)
すすめたい相手 「おさがりを、持っている子」

わたしは、三人きょうだいの長女なので、新しいものをかってもらうことが多いです。だから「おさがり」のことを考えたことがありませんでした。きっと、わたしみたいにきょうだいで一番上の人は同じだろうな。でも、この本を読むと、じつはいつも「おさがり」といっしょにすごしているんだということが分かって、おさがりっていいものなんだな～っていう気がしてきました。うんどう場のゆうぐや教室のつくえやいすなど学校にもたくさんの「おさがり」があます。おさがりは、それを前に使った人やこれから使う人とつながっていることを感じられるとくべつなもの。この本を読むと、今までとはちがった気持ちで物を大切に使うことができますよ。

最後は、4年生(広島県)の作品です。
『しっばいに かんぱい!』(宮川ひろ作 小泉るみ子／絵 童心社)
すすめたい相手 「しっばいをしてしまった人」

この本をしょうかいする理由は二つあります。
一つ目は、しっばいは次の第一歩と教えてくれるということを知ったからです。しっばいをしてもらいたいという安心した気持ちになります。
二つ目は、もししっばいしてしまったとしても、ちょうせんしたことがすごいとはげましてくれるからです。しっばいはくやしいけどしっばいするからこそ成長できます。また、時がたつとしっばいがいい思い出になるというおじいさんの言葉が心にのこりました。しっばいを一人でかかえこまずにそうだんすることも大事と知りました。ぜひしっばいをしてなやんでいる人に読んでみてほしいです。

どの作品も、読書を通して感じたことを深く見つめ、そして、自分の言葉で表現しています。これは、昨年から桑っ子のみなさんと取り組んできたことと似ていますね。自分のもっている感性をいっぱい働かせてチャレンジしてみましょう!「豊かな感性」というとても大切な力は皆さんに着実に付いてきているように思います。上の作品に書かれているように挑戦は自分の成長につながるものですものね!